

**製品名: PEDF ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15953**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:100-1:300,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	46kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SERPINF1
別名	SERPINF1; PEDF; PIG35; Pigment epithelium-derived factor; PEDF; Cell proliferation-inducing gene 35 protein; EPC-1; Serpin F1
遺伝子 ID	5176.0
SwissProt ID	P36955
免疫原	抗血清はヒト PEDF 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 258-307

**背景**

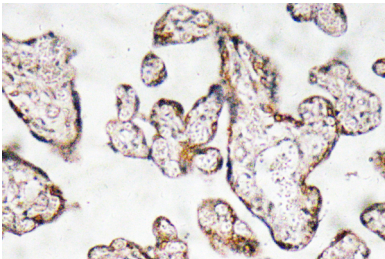
この遺伝子は、他の多くのセルピントタンパク質が示すセリンプロテアーゼ阻害活性を示さないセルピンファミリーのメンバーをコー

ドしています。コードされたタンパク質は分泌され、血管新生を強く阻害します。さらに、このタンパク質は網膜芽細胞腫細胞における神経分化に関与する神経栄養因子です。この遺伝子の変異は、骨形成不全症 VI 型の患者で確認されています。[RefSeq 提供、2016 年 8 月],発生段階: 静止細胞で発現。、ドメイン: N 末端 (AA 44-121) は神経突起伸展誘導活性を示します。C 末端露出ループ (AA 382-418) はセルピン活性に必須です。、機能: 神経栄養タンパク質。網膜芽細胞腫細胞において広範な神経分化を誘導します。強力な血管新生阻害剤。活性型セルピンに特徴的な S (ストレス) から R (緩和) への構造変化を起こさないため、セリンプロテアーゼ阻害活性を示さない。、PTM: N 末端がブロックされている。細胞外リン酸化は抗血管新生活性を高める。、類似性: セルピンファミリーに属する。、細胞内局在: ステージ I メラノソームに豊富に存在する。、組織特異性: 網膜色素上皮細胞および血漿。、

## 研究分野

感覚系、視覚系、神経科学、神経プロセス、神経新生、癌、浸潤/微小環境、血管新生、血管新生阻害因子、阻害剤、心血管

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト前立腺癌組織における PEDF 抗体の免疫組織化学分析。